活動記録書

開催日:				開催テーマ:				
平成30年 1月12日(金) 晴れ				藤沢で招福祈願、鎌倉ゆかりの古刹と古社を訪				
				ねる	5			
開催場所:				記入者:				
藤、沢			清水 孝照					
参加人数:	寺社を巡る会会員	男	28 名	女	7名	計	35 名	
ビジター 男 0		0 名	女	0名	計	0名		
	合 計						35 名	

実施内容(実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など):

コース:大船駅西口バス停=山王神社前バス停→感応院→諏訪神社→常光寺→白旗神社 →御殿辺公園(昼食)→養命寺→皇大神宮(正式祈願)→藤沢駅

平成30年度の初活動は晴天に恵まれて大変良い七福神巡りになった。源実朝が開いた感応院では寿老 人、寿老人は南極星の化身と云われる中国道教の老僧の分身で、長寿延命、富貴繁栄、身体健全、諸病平 癒と多岐にわたるご利益がある。遊行寺の呑海上人勧請の諏訪神社では大黒天、大黒天はインドでは「破 壊の神」で恐ろしい神であったが、日本では人々に官位や財宝、特に「山の幸」を恵む優しい神に変わり、 二俵の米俵の上に座した像を寺の台所に安置するようになり、商売繋盛で福の神として信仰される。元亀 三年(1572)創建の常光寺では福禄寿、背丈が低く、頭が長く、足が短く、白髪をたくわえ経巻を結んだ |杖を持ち、多くは鶴を伴っている。「福 (子孫繁栄)」「禄 (財産)」「寿 (健康長寿)」の三徳を備える。白 旗神社では福徳の神の毘沙門天である。この神社は相模国一ノ宮寒川神社から勧請されが、宝治三年 (1249) 義経の首がこの地に葬られ、義経が祭神として合祀された。全国の白旗神社では、頼朝が祀られ ることが多く、義経を祀る神社は珍しい。延文年間(1356~61)創建の養命寺では布袋尊、布袋和尚と呼 ばれるようになったのは、日頃手に杖を持ち、大きな袋を背負って方々を放浪していたことによる。弥勒 菩薩の化身とも云われている。福運をもたらす神と称えられている。恵比寿を祀る皇大神宮で一年の幸せ を願い参加者全員が祈願を受けた。鎌倉権五郎景政がその所領大庭荘を開拓し、伊勢神宮に寄進したこと から「大庭御厨」と呼ばれるようになり、大庭御厨の総鎮守として尊崇を集めた。8月 17 日の例祭には、 藤沢市の有形民俗文化財に指定されている人形山車9基が出て賑わい、そして、藤沢市の無形民俗文化財 に指定されている「湯立神楽」が奉納される。

参詣にはご朱印帳ならぬスタンプラリー用紙の配布を受け参詣した印に皆スタンプを押し記念とした。

参加者の状況・意見など:

今回はビジターは0であった。昼食の場所が今回も屋外であった。せめて事前に教えて欲しかった。

次回の予定:

2月1日(木)12:30 金沢地区センター 座学(百寺巡礼)